

9月9日(木)、10日(金)に前期期末テストが実施されました。5教科の先生方からの講評を掲載しますので、今後の家庭学習の参考にしてください。後期も頑張りましょう！

✎先生方から期末テストの講評✎

【国語】 M先生

今回も前回に続いて、問題の答え方が理解できていない解答が多数ありました。何となく答えらしきものを書くのではなく、「何を聞かれているか」をきちんと把握するようにしなければ、正解になりません。今回は特に作文問題において、「2段落目は理由を書くこと」という指示を見落としている人が多数いました。次回は気を付けてください。

【数学】 I先生

今回は、1章「正の数・負の数」、2章「文字の式」、3章「方程式」(方程式の解き方)が範囲でした。基本的な計算問題はおおむねできていましたが、夏休み明けのテストでしたので、夏休みの取組状況によって、少し差が出たように思います。数学は、毎日取り組むことが大切です。1日、何問と決めて、時間を計りながら継続して復習していくとよいでしょう。

【英語】 S先生

大問4.6.ではbe動詞と一般動詞の違いを理解しているか問う問題でした。大問5.は重要表現を理解しているかワークから中心に出題しました。複数の語で1つの意味を表したり、語尾が変化したりするものを、書く問題でしたので、正答率が低かったです。書けるようになるまで練習しましょう。必ず役立ちます。

【理科】 N先生

まずは、知識について正しく理解することが大切です。理科は身近な現象等を扱う学問ということもあり、『なんとなくのイメージ』で覚えてしまうことがあります。教科書の太字部分や、授業で強調した部分の学習を見直しましょう。また、問題文を読み、何をどのように答える必要があるか考えるとよいです。小数第一位で答える場合は、小数第二位を四捨五入するなど、小さな失敗をしないように気をつけましょう。

【社会】 M先生

地理に関して、出題の中心となった「都道府県」「気候」についてよく復習しておきましょう。どの地方に何県があるのか、県庁所在地はどこなのか、今後の授業や試験でも基礎知識として必要になる場面が出てきます。また、雨温図を見たらどこの気候について表しているのかわかるようになっていくといいですね。今回は知識としての情報量が多かったかと思いますが、内容をしっかり理解しておくこと今後の授業や試験で役に立ちます。

